

広谷公民館だより 表

千年の町備後府中で歴史を語り合おう
府中市合併70周年記念

諸毛と諸田と府中

歴史講座配信のお知らせ

協和公民館で行われる歴史講座を、広谷公民館でリアル配信します。
録画ではありませんので、質疑応答の時間に質問も可能です。
操作は館長が行いますので、パソコン知識は不要です。

日時:令和8年5月23日(土)16:00~17:00

場所:広谷公民館 1階会議室

講師:歴史研究者 竹岡 健次さん

申込方法

- お名前と電話番号をお知らせください。
- 人数分の資料をご用意しますので、必ずお申込みください。

申込期限: 5月22日(金)

申込み・お問い合わせ: 広谷公民館

電話・FAX: 0847-45-3140

電話受付 火~土 13:00~19:00(祝除く)

※不在の場合もあります。ご了承ください。

諸田村のあゆみ
府中市との合併に
ついて語られます。



広谷公民館だより 裏

3月28日（土）に、蝶を知ろう第二弾「府中市で春一番に見かける蝶は？」を開催しました。

前半の紙芝居では、古くから伝わる藤袴の伝説にアサギマダラを結び付け、フジバカマとアサギマダラの生態についても知っていただける物語としました。

物語の世界観と語り部の声がよく調和し、公民館が神秘的な山の世界へと引き込まれるようなひとときとなりました。

今回の語り部は地域の方にお願ひし、快く引き受けていただきました。

広谷公民館の民話紙芝居が地域とともにありたいという願ひに、また一つ近づけたと感じます。



後半の門田先生の講座では、春の蝶について学びました。

珍しい蝶や華やかな蝶に目が行きがちですが、身近で素朴な蝶にも興味深いお話が沢山あります。「春の蝶」とは、冬の間を蛹で過ごし、3月頃に羽化する蝶のことを指します。春一番に見られる蝶は小さく可愛らしい姿をしていますが、その蝶が生む夏の蝶は一回り大きくなるそうです。

また、春に一度だけ成虫となり、次に姿を見せるのは翌春という種もあり、それぞれに個性豊かな生態があることを学びました。

これまで何気なく見ていた蝶も、知ることで見え方が変わり、より興味が深まりました。

今回も貴重な標本をお持ちいただき、参加者の皆さんが取り囲んで熱心に話を聞く様子が見られました。次回の蝶を知ろうの講座では、どのようなお話が聞けるのでしょうか。門田先生のお話は本当にわくわくします。



広谷公民館の周辺では、藤袴を植えて秋のアサギマダラの飛来を待つご家庭も多く、イベント終了後も「うちの藤袴は…」と地域の共通の話題で盛り上がっていました。

広谷公民館の藤袴も現在、小さな芽が次々と芽吹いています。昨年の元町町内会との共催イベントで作成した挿し木が、今年はプランターいっぱいに広がる様子には、感慨深いものがあります。

一方で、その新芽にはハマキムシなどの虫の被害も見られました。藤袴は基本的には強い植物ですが、病気や害虫被害、そしてこれから訪れる暑さにも注意が必要です。

藤袴は秋の七草のひとつで、万葉集や源氏物語にも登場する歴史ある植物であり、地域で一体となって植えることで、自然環境の保全にもつながる取り組みと考えています。

秋には美しい花を咲かせ、アサギマダラや訪れる生き物の憩いの場となるよう、大切に育てていきたいと思ひます。



巻いた葉

このような系があると要注意です！

